

令和7年度 第2回新見市国民健康保険運営協議会 次第

日 時 令和 7 年 12 月 25 日 (木)
14時00分から

場 所 新見市役所 南庁舎 3A会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 署名委員の選出

4 議 事

(1)【報告事項】

子ども・子育て支援金制度について

(2)【協議事項】

令和8年度新見市国民健康保険税率等について

5 その他

6 閉会あいさつ

7 閉会

新見市国民健康保険運営協議会委員名簿

任期: 令和9年5月31日まで(3年間)

選任区分	氏名	所属等	参加
被保険者代表委員	山室邦治	神郷支局管内	会場
〃	羽場美恵	哲多支局管内	会場
〃	矢吹弥生	哲西支局管内	会場
保険医代表委員	児玉州平	新見医師会	会場
〃	宮原康太	新見歯科医師会	会場
保険薬剤師代表委員	角谷栄男	薬剤師会新見支部	オンライン
公益代表委員	仲田芳人	新見市議会 文教福祉常任委員会委員長	会場
〃	谷本浩章	新見市議会 文教福祉常任委員会副委員長	会場
〃	橋本亨子	新見市議会 文教福祉常任委員会委員	会場
被用者保険等代表委員	谷口倫朗	岡山県自動車販売健康保険組合 常務理事	会場
〃	実原奈保美	岡山県市町村職員共済組合 事務局次長兼保険課長	オンライン
〃	宮本雄介	全国健康保険協会岡山支部 業務グループ長	(欠席)

※敬称略

令和7年度

第2回 新見市国民健康保険運営協議会

会議資料

日時 令和7年12月25日(木) 14時00分から

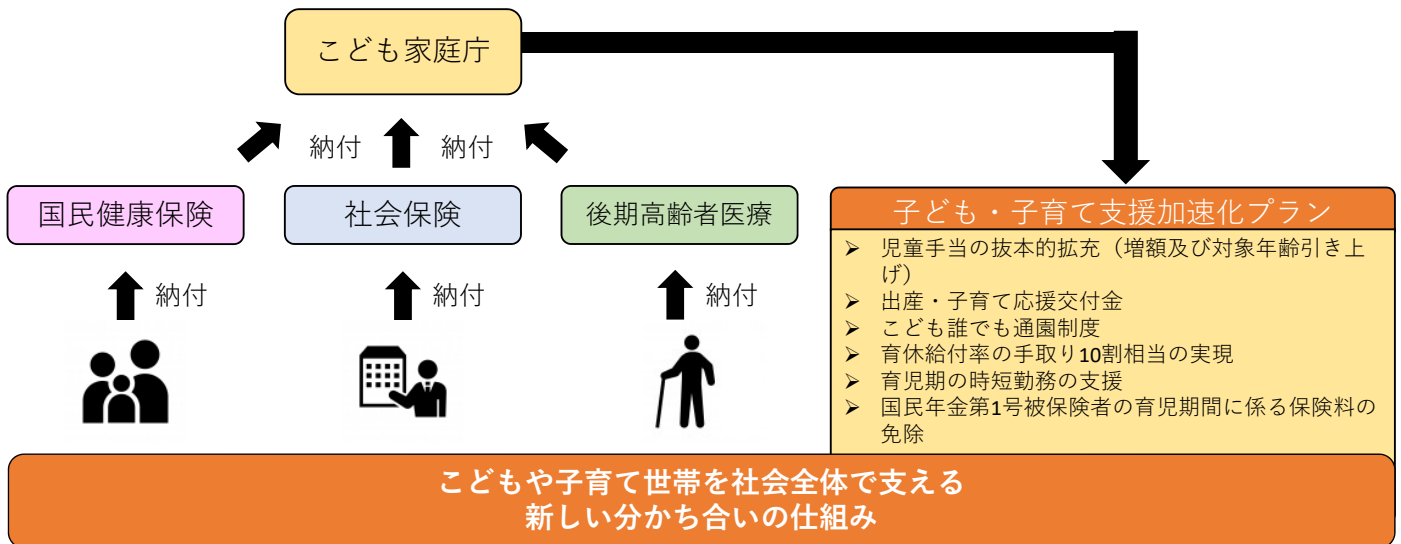
場所 新見市役所 南庁舎 3A会議室

目次

【報告事項】	頁
子ども・子育て支援金制度について	1
【協議事項】	
令和8年度新見市国民健康保険税率等について	2～3

1. 子ども・子育て支援金制度とは

- 令和5年12月に閣議決定された『こども未来戦略』に基づき、国は令和10年度までに3,6兆円の予算を充てる『子ども・子育て支援加速化プラン』をとりまとめました。
- 加速化プランを賄う安定財源の一つとして『子ども・子育て支援金制度』の創設を内容に含む法律が、令和6年6月に成立しました。
- 令和8年度以降、全ての医療保険において、各保険者が保険料等と併せて被保険者から徴収し、子ども・子育て支援金として国に納付します。
- 子ども・子育て支援金は令和10年度まで段階的に増額されることが予定されています。



2. 国民健康保険税の構成が変わります

- 現在の国民健康保険税は医療費の財源となる『医療分』、後期高齢者医療制度を支えるための財源となる『後期高齢者支援金分』、40歳から65歳未満の介護保険第2号被保険者が納める『介護分』の3区分から構成されています。
- これらに加えて、**令和8年度から新たに『子ども・子育て支援金分』が加わる**形となります。



3. 国保被保険者への影響

- 国が示す『子ども・子育て支援金分』の試算では、**国民健康保険の加入者一人当たり平均月額**は令和8年度が250円、令和9年度が300円、令和10年度が400円となっています。(年額でR8:3,000円/R9:3,600円/R10:4,800円)
- 18歳未満のこども分の均等割額は賦課されません。
- 徴収する支援金については**各保険者が所得割・均等割・平等割を設定することとされています。**
- 令和8年1月に政令改正が予定されているため、第3回の運営協議会で具体的な税率等の協議いただければと存じます。

一人当たり平均月額	令和8年	令和9年	令和10年
全制度平均	250円	350円	450円
社会保険	300円	400円	500円
国民健康保険	250円	300円	400円
後期高齢者医療	200円	250円	350円

(※各数値はこども家庭庁作成資料より引用)

【協議事項】令和8年度新見市国民健康保険税率等について

- 国民健康保険税収納率(現年分) ※第1回時点未発表分追記 (単位:%)

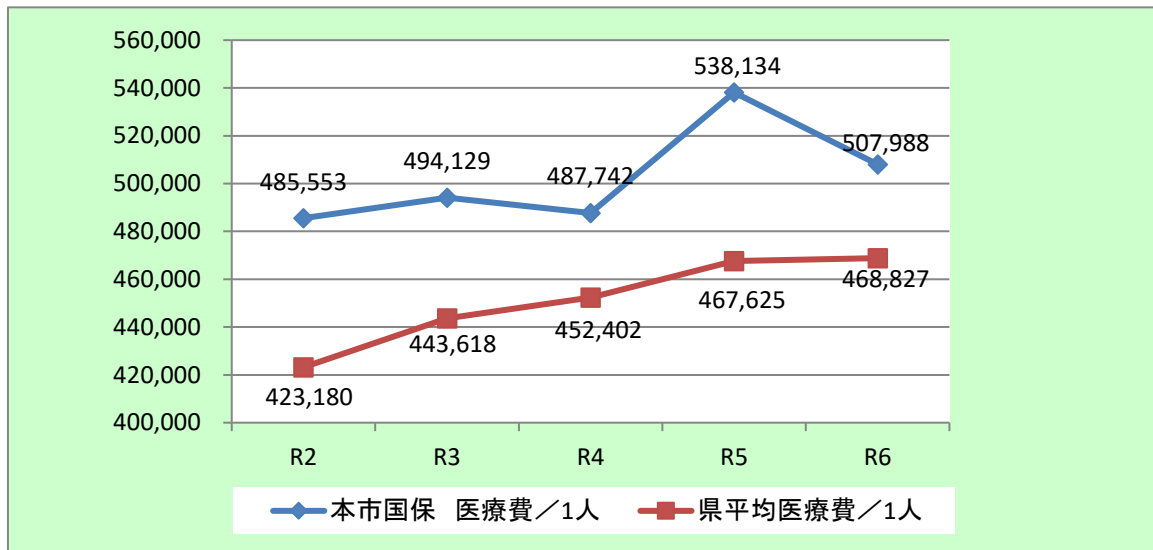
区分	R2	R3	R4	R5	R6
収納率	96.60	96.57	96.49	97.11	96.82
県内順位(県内15市)	2位	3位	4位	3位	3位
県平均収納率	94.45	95.09	94.97	94.82	94.62
県平均との差	+2.15	+1.48	+1.52	+2.29	+2.20

- 一人当たり医療費の推移(R2~R6) ※第1回時点未発表分追記 (単位:円)

区分	R2	R3	R4	R5	R6
本市国保 医療費/1人	485,553	494,129	487,742	538,134	507,988
県内順位(県内15市)	1位	2位	3位	1位	6位
県平均医療費/1人	423,180	443,618	452,402	467,625	468,827

(注) 一人当たり年間医療費=医療費総額÷被保険者総数(年度平均)

(単位:円)



- 年度平均被保険者数等の推移及び推計 (単位:世帯、人)

年度平均	R2	R3	R4	R5	R6	R7推計
全体世帯数	4,027	3,951	3,844	3,668	3,532	3,405
増減率(前年比)	▲1.6%	▲1.9%	▲2.7%	▲4.6%	▲3.7%	▲3.6%
全体被保険者数	5,909	5,754	5,509	5,158	4,912	4,677
増減率(前年比)	▲2.6%	▲2.6%	▲4.3%	▲6.4%	▲4.8%	▲4.8%
介護2号世帯数	1,303	1,208	1,135	1,074	1,048	1,020
増減率(前年比)	▲7.0%	▲7.3%	▲6.0%	▲5.4%	▲2.4%	▲2.7%
介護2号被保険者数	1,509	1,378	1,287	1,206	1,182	1,144
増減率(前年比)	▲7.1%	▲8.7%	▲6.6%	▲6.3%	▲2.0%	▲3.2%

●新見市国民健康保険財政シミュレーション

(単位:千円)

区分	R4決算	R5決算	R6決算	R7見込	R8見込	R9見込	R10見込	R11見込	R12見込	R13見込
国民健康保険税	526,311	488,018	477,439	473,195	459,749	446,707	434,055	421,784	409,880	398,334
国庫・県支出金	2,339,383	2,439,773	2,200,351	2,312,796	2,310,951	2,309,210	2,307,521	2,305,882	2,304,293	2,302,751
直診関係国庫支出金	13,356	14,819	18,017	11,855	11,855	11,855	11,855	11,855	11,855	11,855
諸収入	8,385	5,382	4,404	2,905	2,905	2,905	2,905	2,905	2,905	2,905
繰越金	54,464	43,919	27,518	38,427	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000
一般会計繰入金	210,844	202,082	187,617	178,853	176,640	171,968	167,436	163,040	158,776	154,640
直診勘定関係繰入金	76,484	77,773	99,749	86,045	86,045	86,045	86,045	86,045	86,045	86,045
法定外繰入金	20,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基金繰入金	12,324	118,147	78,067	126,049	127,495	131,278	134,811	138,101	141,158	143,991
歳入合計	3,261,551	3,389,913	3,093,162	3,230,125	3,210,640	3,194,968	3,179,628	3,164,612	3,149,912	3,135,521

保険給付費	2,302,124	2,409,118	2,145,849	2,267,502	2,267,452	2,267,452	2,267,452	2,267,452	2,267,452	2,267,452
国保事業費納付金	710,390	751,499	703,928	722,979	708,303	693,924	679,837	666,037	652,516	639,270
総務費	14,232	15,994	18,467	20,218	20,218	20,218	20,218	20,218	20,218	20,218
保険事業費	40,763	40,566	36,185	44,409	43,077	41,784	40,531	39,315	38,136	36,991
諸支出金	5,784	8,672	4,990	3,590	3,590	3,590	3,590	3,590	3,590	3,590
直診勘定関係繰出金	102,157	92,592	117,766	97,900	97,900	97,900	97,900	97,900	97,900	97,900
予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基金積立金	42,181	43,953	27,548	38,527	35,100	35,100	35,100	35,100	35,100	35,100
歳出合計	3,217,631	3,362,394	3,054,733	3,195,125	3,175,640	3,159,968	3,144,628	3,129,612	3,114,912	3,100,521

歳入歳出差引額	43,920	27,519	38,429	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000
---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

基金繰越金	574,447	604,303	530,110	479,591	392,069	299,674	203,496	103,785	784	-105,274
+基金積立額	42,181	43,953	27,548	38,527	35,100	35,100	35,100	35,100	35,100	35,100
-基金取崩額	12,324	118,147	78,067	126,049	127,495	131,278	134,811	138,101	141,158	143,991
年度末基金残高	604,303	530,110	479,591	392,069	299,674	203,496	103,785	784	-105,274	-214,165

✦ シミュレーション条件

- 令和7年度の国保税率等を維持したとして推計するものとする
- 子ども・子育て支援金制度については考慮しないものとする
- 被保険者数の変動率を▲3%とする
- 一人当たり国保事業費納付金の変動率を+1%とする
(国保事業費納付金と県全体の医療給付費は連動しています。)
- R7以降の見込はR7当初予算をベースに算定
- 過年度の繰越金の傾向から毎年3,500万円の繰越額が発生するよう調整

●国保税の改定の方向性について

- 物価高騰の影響を受け診療報酬が改定される、年収の壁が変動するなど、医療保険を取り巻く環境が大きく変動しているところです。
- 岡山県内の保険料水準の完全統一が控えています。(令和15年度(遅くとも18年度)まで)岡山県は令和8年度に行う岡山県国保運営方針の中間見直しで目標年度設定を予定しています。
- つきましては今後の保険税について、2か年毎に運営協議会で協議しての変更では変化に対応しきれないことや県が算定する標準保険料率に徐々に近づけていく激変緩和を図ることが難しくなることから、令和8年度は増額改定することとし、9年度以降についても毎年国保税率等の協議の場を設けさせていただきたい。
- 令和8年度の国保税率等の具体的な改正案は次回第3回の運営協議会の協議事項とさせていただきます。

●右図の説明

上記財政シミュレーションにおいて、現行の保険税率等のままで賦課を行う場合、令和13年度末まで2億2千万円ほどの運営上の不足額が生じる見込みです。

オレンジ部分は、令和13年度末までに合計2億2千万円を収納するために激変緩和を狙って毎年保険税率等を上げていくよう割り振ったものになります。

紫部分は、子ども・子育て支援金分の増額分を示しています。

赤線は、令和7年度の保険税率と比較してどれくらい一人当たり負担額が累計で増えるかを示しています。

緑部分は、標準保険税率を適用した場合の予測値を示しています。

今後の国保税率増額のイメージ図

